

平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 日本精密株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岡林 博
 (JASDAQ コード番号 : 7771)
 問合せ先 執行役員財務・経理部長 阪井明男
 (電話番号 048-225-5311)

ASEANプロジェクトの2018年3月期利益計画の再修正に関するお知らせ

平成 25 年 11 月 21 日付「ASEANプロジェクト並びに 2018 年 3 月期利益計画の策定に関するお知らせ」で開示しております通り、当社では 5 カ年計画からなる ASEAN プロジェクトを現在推進しております。計画の中間期となる 3 期目の 2016 年 3 月期終了後の平成 28 年 5 月 13 日付「ASEAN プロジェクトの 2018 年 3 月期利益計画の修正に関するお知らせ」で開示いたしました 2018 年 3 月期の利益計画につきまして、直近の業績状況を鑑みて見直しを行いましたのでお知らせいたします。なお、ASEAN プロジェクト自体は順調に進行しており、プロジェクトにおける実施内容・戦略につきましての変更はございません。

記

2018 年 3 月期利益計画の再修正

次期の経済見直しにつきましては、地政学的リスクや為替相場の変動リスクなどは依然として残るものの、世界経済は堅調に推移すると予想されます。

このような状況下、当社グループは、平成 30 年 3 月期に向けた利益計画 ASEAN プロジェクトに取り組んでおります。次期は 5 カ年計画の最終年度となりますが、直近の業績状況を鑑みて利益計画の見直しを行いました。なお、ASEAN プロジェクト自体は順調に進行しており、プロジェクトにおける実施内容・戦略につきましての変更はございません。

時計関連においては、NISSEY VIETNAM CO., LTD. における設備投資の継続による半自動化・オートメーション化の推進及び生産効率の向上とコスト低減、時計関連の高級品ラインの拡大及び製品の高付加価値化へのシフト、NISSEY CAMBODIA CO., LTD. の生産性及び収益性の向上、また同工場敷地内での新工場 (NISSEY CANBODIA METAL CO., LTD.) の建設と早期の本格稼働による受注の拡大、メガネフレームにおいては、ビジネスモデルの見直しなどによる事業の立て直し、その他においては、ウェアラブル関連や健康器具の受注拡大、新規取引先の開拓などの諸施策を引き続き推進してまいります。

次期 (平成 30 年 3 月期) の業績見直しにつきましては、連結売上高は 8,527,000 千円 (前年同期比 5.6% 増)、連結営業利益は 77,000 千円 (前年同期は営業損失 357,905 千円)、連結経常利益は 6,000 千円 (前年同期は経常損失 480,387 千円)、親会社株主に帰属する当期純利益は 351,000 千円 (前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失 339,737 千円) を見込んでおります。

なお、平成 28 年 5 月 13 日付「特別利益の計上に関するお知らせ」で開示いたしました本連結業績見直しにおける影響額につきましては、上記見通しに盛り込んでおります。

(ASEANプロジェクト：修正計画)

(単位：百万円)	平成 29 年 3 月期 (前回発表予想)	平成 29 年 3 月期 (実績)	平成 30 年 3 月期 (前回発表計画)	平成 30 年 3 月期 (修正計画)
連結売上高	10,206	8,072	11,400	8,527
連結営業利益	306	△357	471 + α	77
連結経常利益	231	△480	335 + α	6
親会社株主に帰属する 当期純利益	352	△339	220 + α	351

以上